

「せみが教えてくれたこと」

大本 明日香

夏の朝、せみの声で目が覚める。

毎日毎日、うんざりだ！

これが、夏というもの…

悪くない…いや…でも…

やつぱり、うるさい!!

でも、せみはガンバッテル。

木から落ちても終わりじゃない。

そこで、ふんばる！

だから、私もふんばる。

せみは、最後に一声ないて飛んでいった。

まえ回り、逆上がり

できた！

回った！

空が見えた！せみが笑っている様に見えた。

わたしも、あきらめなかった。